



西消防団 団長

安尾 勝さん

執筆者 西消防団 平野支団
分団長 戸田 陽生

神戸市には、10消防団、4000人の消防団員がいます。中でも西消防団は、7支団、1430人の団員を抱える大きな消防団です。市街地の消防団の7倍ほどのこの大きな消防団の先頭に立ってリーダーシップを発揮しているのが、昭和41年に消防団員に任命され、41年間の長きにわたり防火防災活動を続けておられる、わが平野支団長兼西消防団長でもある安尾勝団長です。安尾さんはお忙しい本業のかたわら、地元の消防団活動に加え、神戸市消防協会副

神戸ワインのようなさわやかな西消防団長

会長、新時代の神戸市消防団検討委員会委員等の要職も務める、バイタリティにあふれ、笑顔のさわやかな頼れる団長です。安尾さんの本業は、神戸ワイン用のブドウの栽培です。

地元では有名ですが、全国的には知名度が低かった？ 神戸ワインですが、去る2月に三宮の神社で結婚式をあげた芸能人カップルに、神戸市長が贈呈したことがテレビなどで取り上げられ、神社と同じくらい全国的に有名になったのではないかと、大変うれしく思っています。皆さんが神戸ワインを味わう機会がありましたら、「ああ、安尾団長が育てたブドウが使われているな」と思いうちしてくださいね。

その安尾団長の指揮のもと、昨年5月、神戸市立農業公園多目的広場で行われた「第50回西消防団ポンプ操法競技会」に出場しました。この

競技会は、消防団の「魂」といっても過言ではない小型動力ポンプを3台使って中継送水し、標的のポールを放水して落とすまでのタイムを争う競技です。競技会の訓練は仕事の合間に行うため、団員にとっては大変つらいのですが、

技術を錬磨し、チームワークと団員の使命感を学び、安全、迅速、的確に放水できるようになることを実感すると、火災現場で

も自信を持って活動できるようになり、それが私たち西消防団員の気持ちの支えになっています。

今後、消防団業務に対する真摯な姿勢、確かな知識、豊かな経験を持った安尾団長から指導を受け、ワインのブドウのような「渋み」と「さわやかさ」を持った人間味豊かな消防団員となり、地域の防災リーダーとして活躍したいと思います。

